

手洗い後の手のひらの培養。

手指洗浄（衛生的な手洗い）指導前



指導後



### 手洗い手順 (石けん液) ©SARAYA CO., LTD.

**SARAYA**  
<http://www.tearai.jp/>



① まず手指を流水でぬらす



② 石けん液を適量手の平に取り出す



③ 手の平と手の平をすり合わせよく泡立てる



④ 手の甲をもう片方の手の平でもみ洗う(両手)



⑤ 指を組んで両手の指の間をもみ洗う



⑥ 親指をもう片方の手で包みもみ洗う(両手)



⑦ 指先をもう片方の手の平でもみ洗う(両手)



⑧ 両手首までていねいにもみ洗う



⑨ 流水でよくすすぐ

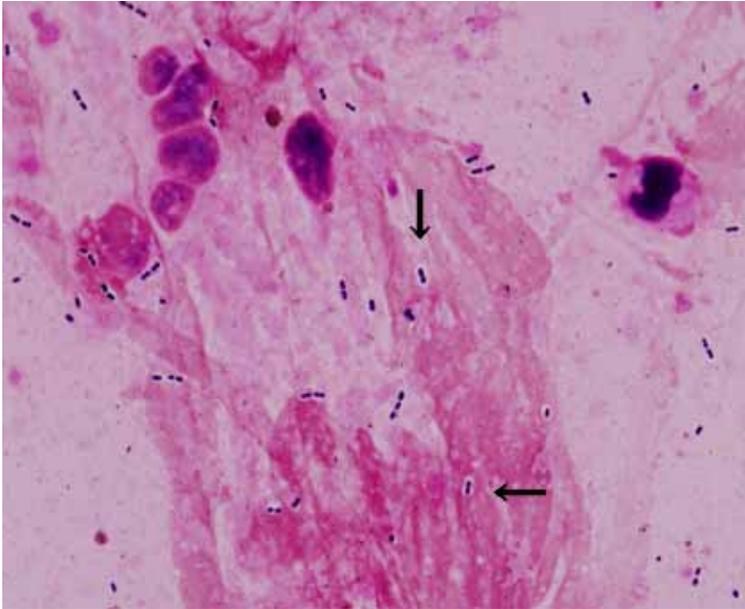


⑩ ペーパータオルでよく水気をふき取る

**顕微鏡検査:** 検体材料(喀痰・尿・膿汁など)をスライドガラスに塗抹し染色したものを1000倍に拡大して観察します。

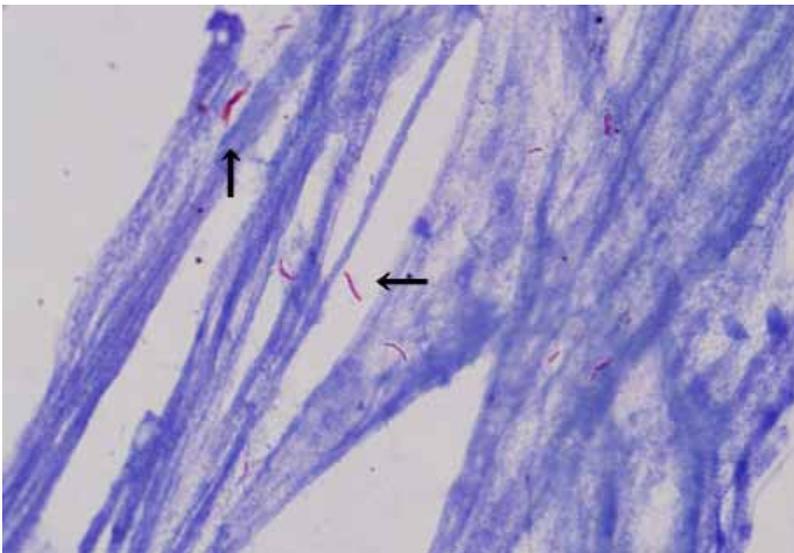
*Streptococcus pneumoniae*

(ストレプトコッカス・ニューモニエ:肺炎球菌)



口腔内に存在し、市中肺炎、誤嚥性肺炎の原因菌となり、大葉性肺炎をおこします。その他中耳炎や副鼻腔炎、髄膜炎などの原因菌ともなります。

*Mycobacterium tuberculosis* (結核菌)

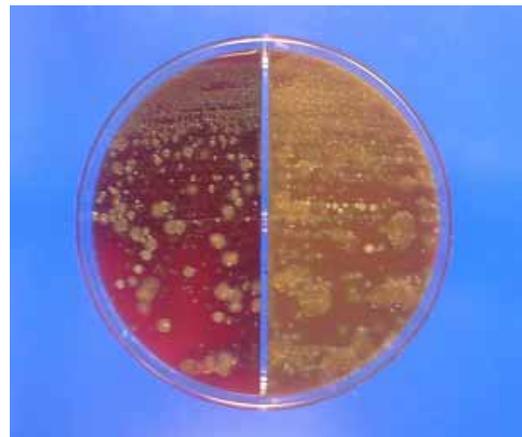
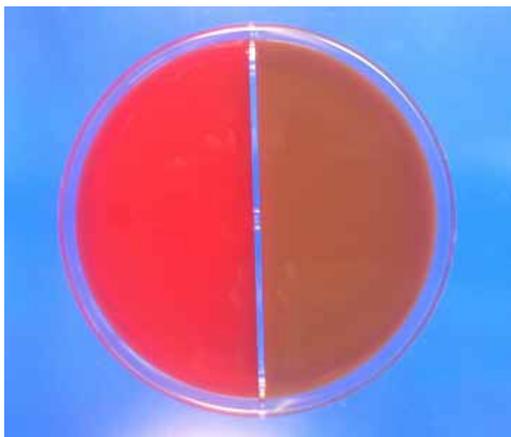


肺結核をはじめとする各種の結核の原因となり、消毒薬や乾燥に対して高い抵抗性を有します。保菌者の咳やくしゃみなどから空気感染にて、肺胞マクロファージの細胞内に感染します。

**培養検査:** 検体材料を培地に塗り広げ、菌を増やします。

口の中の培養  
培養前

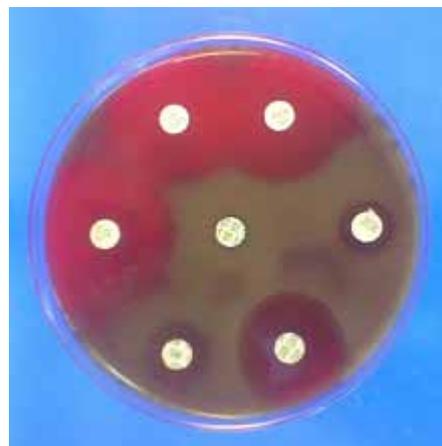
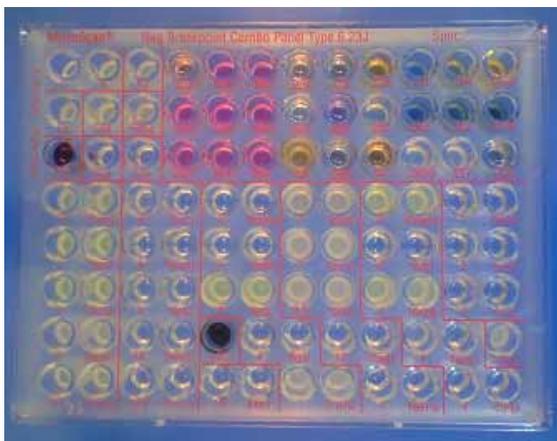
炭酸ガス培養後(37 20 時間)



左半分:血液寒天培地  
右半分:チョコレート寒天培地

**同定検査:** 様々な生化学的な反応(糖・アミノ酸の分解能など)の違いなどにより、特定の微生物(菌名)を決定します。

**薬剤感受性試験:** 抗菌薬の効果を判断するため、一定濃度の菌液に各種抗菌薬を作用させ、発育の有無や度合で判定します。



患者さまを感染症の苦しみから守るべく、迅速かつ正確な検査に努め、日々精進しております。

